平成 26 年度　第 4 回（公社）大気環境学会常任理事会　議事要旨

日時　　平成 27 年 3 月 20 日（金）14 時～18 時

場所　　電力中央研究所（大手町）7 階第 5 会議室

出席　　若松会長、大原副会長、早川副会長、畠山常任理事、伊豆田常任理事、中井常任理事、
大河内常任理事、速水常任理事、長谷川常任理事

オブザーバー出席　名古屋第 56 回年会長、国際文献社　竹内氏、小野氏

議題

1.　議題

1.1.　　学会賞選考について

学会の表彰に関する規定について、メール審議の結果を踏まえ、規定を改正することにした。主な改正点は、以下の通り。なお、学会誌 2 号により、既に公募は開始している。

① 従来、選考委員会の下に論文賞選考小委員会をおいていたが、これを独立し、「論文賞選考委員会」を設置し、選考委員会を「学会賞選考委員会」とする。それぞれの委員会で選考結果を常任理事会に報告することとした。
② 学会賞選考委員会委員は、常任理事会で選任し、委員長は常任理事の中から会長が指名する。
③ 論文賞選考委員会委員は、常任理事会で選任し、委員長は編集委員長が務める。
④ 従来、選考結果を理事会に諮っていたが、常任理事会で決定することとし、理事会に報告することとした。これにしたがい、理事会で、常任理事会への委任事務を明確に定めることとした。
⑤ 論文賞の対象について、「前年 1 年間の本学会誌及び Asian Journal of Atmospheric Environment(以下、「AJAE 誌」という。)に掲載された優れた研究論文」とする。

1.2.　　論文賞選考について

平成 26 年度論文賞選考審査について、方針が示され、概ね了承された。主な選考方針は以下の通りである。5 月中に論文賞候補を決定し、常任理事会に報告する予定である。

① 論文賞選考と編集委員会（論文査読）をリンクさせることにより、対象論文のスクリーニングと選考委員の負担軽減を図る。
② 選考委員会委員は、正副編集委員長と委員 5 名とする。
③ 編集委員による一次評価により、対象論文を選定し、選考委員による二次評価を行う。
④ 表彰部門については、選考委員会で決定する。

1.3.　　日中学術交流について

日中学術交流に関する覚書（案）について検討し、了承された。なお、学会名の統一について、再度中国側に確認することになった。また、日中記念合同シンポジウムを第 56 回年会において開催する

こと、及び今回の中国側講演者 2 名の招聘経費に企業等からの協賛金を募ることが了承された。さらに、この交流に関する日本側担当として慶應大学の奥田会員に依頼することとした。

1.4.　第 56 回年会について

若松会長から、年会は当学会の最大イベントであり、年会の運営にあたっては従来からの継続性を重視すること、学会財政改善を図るためにも収益性を高めることが必要であり、発表申し込み分類、参加登録費等については、常任理事会での議論が必要であるとの意向が示された。これに対し、名古屋第 56 回年会長、大河内実行委員長から、今回の年会に関し、参加登録費用の決定、発表部門の分類に関し、年会事務局所掌事項であるとの認識から、常任理事会に諮らなかったことについて説明があった。

年会の概要については、既に学会誌 2 号で公表済みであることから、大幅な修正は無理があるため、参加登録費の設定については第 56 回年回限りとし、発表部門については、従来の大分類はそのままとし、細分類は修正可能とした。これを受けて、発表分類については、学会誌 3 号、学会ホームページに修正版を掲載することとした。

大河内実行委員長から、年会の準備状況について以下の報告があった。

①　年会のお知らせ（第 3 報）を学会誌 2 号に掲載

②　収支予算案

③　協賛趣意書

年会事務局と学会事務局の役割分担等について、担当の大原副会長から説明があり、今後検討を進めていくこととした。

1.5.　支部・分科会活動の活性化について

①　分科会

平成 27 年度分科会を公募することについて、担当の長谷川理事から提案があり、概ね了承された。分科会については、学会役員任期と同期するため、今回の公募に限り活動期間を 3 年間とすること、内規について若干の修正をすることを決定した。

②　支部

支部活動の活性化について、担当の長谷川理事から説明があった。年会の前日に行っている支部長会に、次回年会から担当理事も出席することとした。

1.6.　学会誌の活性化等について

①　最近の編集動向について

速水編集委員長から、投稿数が少ないことにたいする対応が必要であること、査読判定の見直しについて説明があり、概ね了承された。

②　50 巻記念号の発行について

50 巻を記念して、「あおぞら」に歴代編集委員長の執筆を依頼していることが報告された。これに対し、座談会等を開催してその記事を掲載する提案があった。

③　印刷会社のミスへの対応について

学会誌掲載論文について、49 巻 6 号、50 巻 1 号及び 2 号でミスがあり、印刷会社に出席してもらい原因を説明させるとともに、対応策を検討した。今後、編集委員長、事務局と 3 者で対応策を協議し、その結果を学会誌に報告することとした。

1.7.　財務状況等について

①　H27 年度事業計画について

例年の事業に調査研究事業を追加することとする。

②　財務状況について

財政状況が厳しいため、収支予算立案については、支出の減少、収入の増加を図る必要がある。そのため、学会誌印刷費、年会経費、事務費等での減額を検討する必要がある。その他、継続的に検討することとした。

③　会費納入状況について

会費未納者については、平成 25、26 年度未納者 15 名、平成 26 年度未納者 27 名で、例年より少ない状況にある。

1.8.　外部との連携等について

①　保健文化賞への再度の応募について

昨年度に引き続き、再度応募することとした。

②　外部資金獲得

平成 26 年度から、環境再生保全機構の研究受託を行なっているが、他の資金獲得のため準備を進めることとした。

③　環境省との連携

昨年に引き続き、連携をすすめることとした。

1.9.　広報活動について

伊豆田広報委員長から、会員増加を目的とした広報活動を行うこと（会員の少ない栃木県等の会員を増やすための方法を検討すること等）や、新たな研究分野の取り込み等について提案があった。

1.10.　各委員会委員の選任・承認について

選挙管理委員会を除き、全ての委員会委員が選任され、承認された。なお、規程の無い委員会については、新たに委員会規程を作成することとした。

2.　各委員会報告

2.1.　企画運営委員会、産官学民地域連絡協議会

年会時に、年会実行委員会と共同企画として、活動を行うことが報告された。

資料（リストのみ掲載）

①　大気環境学会の表彰に関する規定（改定案）

② 大気環境学会賞受賞候補者の公募について

③ 平成 26 年度論文賞選考審査について

④ 日中学術交流に関する覚書（案）

⑤ 日中（中日）記念合同シンポジウム（素案）

⑥ 第 56 回年会のご案内（第 3 報）

- 第 56 回大気環境学会年会　収支予算(案)
- 年会協賛趣意書
- 会長の指摘事項
- 第 56 回大気環境学会年会事務局規約
- 発表部門分類

⑦ 年会事務局と常任理事会との連携、学会事務局との役割分担等について

⑧ 支部・分科会・総務担当資料

- 平成 27 年度大気環境学会分科会公募のお知らせ

⑨ 最近の編集動向について

⑩ 印刷会社のミスに関する資料

⑪ （公社）大気環境学会　財務状況等について

⑫ H27 年度事業計画（案）

⑬ H27 年度収支予算書（原案）

⑭ 会費未納者リスト

⑮ 広報素案

⑯ 平成 27 年（公社）大気環境学会行事予定（案）

- 理事会・常任理事会予定表

⑰ 各委員会委員リスト

⑱ 第 55 回年会収支決算報告

⑲ 企画運営委員会・産官学民協議会報告